

幸福の七カ条

- 第一条 成功や栄誉や勝ち負けを目的に、ことを行っではいけない。
- 第二条 しないではいけないことをし続けなさい。
- 第三条 他人との比較ではない、あくまで自分の楽しさを追及すべし。
- 第四条 好きの力を信じる。
- 第五条 才能と収入は別、努力は人を裏切ると心得よ。
- 第六条 怠け者になりなさい。
- 第七条 目に見えない世界を信じる。

第一条 成功や栄誉や勝ち負けを目的に、ことを行っではいけない。

豊かで、恵まれた日本であるにもかかわらず、現代には悲壮な顔をして歩いている人が多すぎる。それは成功や栄誉という亡霊に憑り付かれているからではないか。成功するにこしたことはないが、成功なんて時の運、成功しなくても全然OK！水木さんが漫画で食えるようになったのは、四十過ぎてから。水木さん自身、成功したなんて少しも思っていない。成功しなくてもいいんです。全身全霊で打ち込める事を探しなさい。

第二条 しないではいけないことをし続けなさい。

『成功しなくても楽しめること』それは、『しないではいけないこと』。打ち込めるものを真剣に探しても見つからない、という人は多いと思います。大切なのは好奇心。なにか好奇心がわき起こったら、そのことに熱中してみる。そうすれば、『しないではいけないこと』が見つかる。子供の頃は、誰もが、好きなことに没頭して生きてきたはず。初心に帰って、仕事にあらためて喜びを見出すのもいいし、ずっとやりたかったのに我慢していた趣味をやってみるのもいい。

第三条 他人との比較ではない、あくまで自分の楽しさを追及すべし。

自分の好きなことに専念するためなら、周囲の目や評判を気にして「世間のルール」に合わせようなどとしてはいけない。奇人変人になってもいい。いや、むしろ、奇人変人になるべきだ。その証拠に、世界の奇人変人には幸せそうなひとが多いではないか。慌てず騒がず、ひたすら自分の道を進めばいい。それでこそ本当に幸せになれるというものだ。

第四条 好きの力を信じる。

水木さんは、漫画の世界にはいって60年以上。たくさんの賞や勲章を受賞しているが、そんなことよりも大好きな漫画の世界でこれだけ歩いてこられたことの方がよほど幸せなことだと言っている。まさに好きだからこそ、歩いてこられた60年。

第五条 才能と収入は別、努力は人を裏切ると心得よ。

「努力は人を裏切る」。

努力したって成功するなんて保証は何もない。むしろ失敗する可能性のほうがはるかに高い。水木さんはそう言い切る。

じゃあ努力なんて無駄じゃないか！とはならない。

好きの力を信じ、しないではいられないことをし続けていけば、努力すら楽しい。

努力そのものが喜びに満ちている。

## 第六条 怠け者になりなさい。

もちろん、若い頃は必死に努力することが必要。

しかし、中年を過ぎたら怠けることを覚えるべき。努力に結果は、なかなか追いつくものではありません。

続けるためには、怠けることも必要なんです。迷った時には立ち止まってもいいんです。

## 第七条 目に見えない世界を信じる。

水木さんが、こういうと、妖怪や宗教なんかに見えるかもしれませんが、そうではありません。この世には物質的な価値観ではとらえきれないものがあり、それこそがひとの心を豊かにしてくれるということです。

名作『星の王子さま』の有名なセリフにもありましたね。

「じゃあ、秘密を教えるよ。とても簡単なことだ。ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。本当に大切なことは、目には見えない。君のバラをかけたがえのないものにしたのは、君がバラのために費やした時間だったんだ。」

共感できる人、できない人、様々な意見があるかもしれません。

それでも大正時代に生まれ、戦争を経験し長い人生を駆け抜けてきた、そして今も好きなことを道として歩み続ける水木さん。そんな人生の先輩からの貴重なアドバイスとして心の片隅にとどめておきたい、そんな七か条です。

### <経営のヒント>

水木しげるさんが亡くなりました。

そのニュースの中で、水木さんの幸福論が話題になりました。

彼の悲惨な戦争体験がいろいろな漫画（代表作はゲゲゲの鬼太郎）に表現されています。

多くの同僚が死んでいく中、彼は生き残った。

そこには何か、大いなるものの意志があり、生かされたと感じていたんでしょうね。

最近では田坂広志さんの本を多く読んでいます。そこにはこんなメッセージが感じられます。

「運が良い！」

大いなるものに耳を傾け、何かしらの意味を感じる。（解釈力＝意味づけ力です）

道が拓けることを「縁」

何かの導き。大いなるものに導かれている感覚を大切にしたいですね。

人事を尽くして天命を待つ！

祈りです。念じることです。

……「導き賜え」